

《MRI検査における注意事項》

MRI検査について

- 検査時間は部位によって異なりますが、**約10分から30分ほど**です。
- 検査中はブザーのような音や、工事現場のような音がしますが、身体を動かさないようにしていただきます。
- 腹部や胸部などの検査では、呼吸を止めていただくことが必要になる場合があります。

MRI検査が禁忌の方

- 心臓ペースメーカーを埋め込まれている方
- 脳動脈瘤の治療のために材質不明の動脈瘤クリップが入っている方。
- 人工内耳や人工心臓弁を使用している方。
以上の方は生命に係わるため検査は行えません。
- 妊娠中の方（特に妊娠初期は胎児への影響が確立されていません）

MRI検査を受けるにあたり注意しないとイケない方

- 人工関節を使用している方や、体内に手術や事故などで金属が入っている方は、その材質によっては不用意に検査をすると危険な場合があります。
（磁場が金属に集中し、発熱し火傷を負う恐れがあります。また、体内に埋め込まれた金属がMRIガントリ内に吸着される恐れもあります。）
- 閉所恐怖症の方
（パニック障害を起こしたり、動悸や気分不快になる恐れがあります。）
- 入れ墨がある方
（極稀に、色に変色をきたす恐れがあります。）

その他MRI検査を受けるにあたり注意すること

- 化粧品（マスカラやアイライン、着けまつ毛など）の中には一部金属を含んでいる物があります。それによって、発熱や画像の乱れを起こす恐れがあります。
- カラーコンタクトレンズは**失明の恐れ**がありますので、外していただきます。
- 腕時計、カツラ、補聴器、入れ歯、磁気バンド、眼鏡、ヘアピン、ピアスやネックレスなどの貴金属、エレキバンなど、外せるものはすべて外していただきます。
- 財布、携帯電話、磁気カード（キャッシュカードやクレジットカードなど）も持ち込めません。**（磁気により使用ができなくなります。）**
- 保温効果のある肌着（ヒートテックなど）は画像を乱しますので着替えていただきます。

